修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）3—36337

全修協の通常総会

2月20～21日　熱海市でひらく

財団法人・全国修学旅行研究協会の第二十一回通常総会は二月二十、二十一日、熱海市の新熱海ホテルに山本理事長をはじめ来賓、全役員、支部長および友誼団体の役職員約八十名が出席して開かれる。第一日は午後一時開会、議長選出と山本理事長の挨拶、来賓祝辞、祝電披露のあと会務報告が行われる。議事に入り①五十四年度事業報告②五十五年度事業計画③役員改選などを行い、続いて地区会議も開かれる。

第二日目は午前九時から地区会議の報告と、まとめの発表があり、同十一時に総会を閉じる。なお、前日の十九日午後二時から同所で役員会が開かれる。

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務である。

（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

東北・上越の新幹線

関修委の利用調査

〝考慮中〟が41％以上

「利用したい」は14％に

【関東支局】関東地区公立中学校修学旅行委員会（浅香久会長）と関東五県公立中学校長会では来年十月に開通が予定されている国鉄東北・上越新幹線の利用について利用調査を行った。それによると、利用を希望している中学校は回答した千三十一校のうち百四十二校（二万九千四百五十五人）にすぎず、これに対し「利用せず」が四二・九％、「わからない」は四一・四％に達している、現段階ではまだ同新幹線のイメージが薄く、とくに修学旅行の場合、目的地、見学個所、旅館などの適不適が不明なためとみられる。

調査は茨城、群馬、栃木、埼玉、千葉五県の公立中学校千百六十七校に対し悉皆で行われた。回収率は八八・三五％の千三十一校。

東北・上越新幹線開通後の利用希望を県別にみると茨城十一校、二千五百十五人（六％）群馬十五校、二千九十五人（一〇％、ほかに上越九％）栃木二十三校、三千十九人（四・七％）埼玉三十五校九千四百九十八人（一三・五％、ほかに上越〇・五％）千葉五十八校一万二千三百三十九人（二二・二％）の計百四十二校、二万九千四百五十五人であった。

上越新幹線については群馬が東京までのつなぎ輸送に利用したい希望（十四校）を持っているが、北行きのパターンはない。栃木にも、つなぎ輸送としての利用したいとする希望校がわずかある。

「東北・上越新幹線のいずれも利用しない」は茨城五七％。群馬三九％、栃木四〇％、埼玉四四％千葉三四・五％で、平均四三％に達しているが、これは決定的な意志表示とは思われず、東北、上越方面が修学旅行地として整備されれば実施することも考えられよう。

「わからない」は茨城三七％、群馬四〇％、栃木四五％で平均四一・三％におよぶ。この数字は各中学校が抱いている現実的な考えかたともいえる。

ここに「利用しない」の理由としては①「従来通りのコースを実施するため」が茨城六二％、群馬四二％、栃木四一％、埼玉六六％千葉五一％で、平均五二％を上回っている。②「現地の事情が不明なので目的地を変更するつもりはない」が茨城一二％、群馬一一％栃木一九・二％、埼玉一六％、千葉六・九％となっている。③「この方面は学習的価値が少ないから」としているものが茨城〇・三％、群馬〇・四％、栃木六・四％埼玉一一％、千葉〇・三％。

このうち群馬と千葉は現在、東北地方への修学旅行が多く、同地方の実情と学習的価値を認めている関係で、従来の東北修学旅行を変更の意志が少ないため比率は低い。そのほかの県は現地の事情が不明なので高率となっている。

利用する場合の時期の設問では「開通直後から」が茨城の九％、群馬〇・三％、栃木五・八％、埼玉一〇％、千葉三一％。

「専用列車の運転開始後」は茨城六四％、群馬一〇・七％、栃木一〇・三％、埼玉二八％、千葉二〇・九％だった。

また「ようすをみたうえで」は茨城二七％、群馬三七％、栃木二七・六％、埼玉四七％、千葉〇・三％。これでみると、すでに東北地方へ行っている千葉以外は「ようすをみたうえで」が圧倒的に多いことがわかった。

さらに「利用したい」のうち、方面別の希望地をみると次のとおりであった。

いちばん多いのは「平泉ー松島ー仙台」で、茨城一一％、群馬三八％、栃木一二％、埼玉二五％、千葉二七・四％で、このほか千葉は「磐梯ー会津ー福島」が三五・二％もある。同地区以外では「山形ー蔵王ー仙台」「盛岡ー十和田」などが挙げられている。

さらに宿泊先きの希望地は次の通り。

【青森】十和田、浅虫。【秋田】八幡平。【岩手】盛岡、花巻、巌美渓、一ノ関。【山形】上の山、蔵王、天童。【宮城】松島、鳴子。金華山、仙台。【福島】飯坂、土湯、猪苗代、東山、会津若松、芦の牧。

これらの回答について関修委では今後の生徒増に対処するため従前の関西方面からの移行措置を講ずる必要から①国鉄との交渉、運営計画の推進②バス会社をふくむ運輸機関および旅館、施設などへの指導助言、当該各県当局の協力要請のほか旅行斡旋業者に対しても社員の現地熟知、指導用補助教材の整備、説明会、教職員による現地研修会の開催を要望することになった。

なお、同新幹線の修学旅行は、輸送計画が二年前、また、新幹線が運転を開始しても実際の乗客動態などを見きわめてから実施の運びとなるため実際に利用できるのは三、四年後になろう。

〝費用自由〟が増える

修学旅行の基準調査

全修協調査による昨年度全国都道府県、政令都市の中学校、高校修学旅行実施基準は次の通り。①は日数②費用③旅行方面④引率教職員数⑤その他。

中学校＜4＞

【大分県】①三泊四日②三万円③関西以西④五十名以下二ー三名五十ー百名は三ー五名。百ー百五十名は四ー六名。以下略。

【宮崎県】①二泊三日②地教委に一任③地教委に一任。

【鹿児島県】①四泊五日②規定なし③九州④三十名ごとに一名。

高等学校＜1＞

【北海道】①五泊六日②一万円を標準（交通費を除く）③大阪以東④六十名まで三名、三十名増すごとに一名⑤車船泊は二泊以内。

【札幌市】①五泊六日②二万円を標準（交通費除く）③関西④道基準に同じ。

【青森県】①五泊六日②規定なし③規定なし④三十名につき一名⑤六泊七日の特例あり。

【秋田県】①五泊六日②規定なし③関西、中部、岡山、北海道④最低二名、三十名につき一名に責任者一名⑤車船泊二泊以内。

【岩手県】①五泊六日②規定なし③県内、東北、関東、東海、北陸、近畿、北海道④三十名に一名と責任者一名。

【山形県】①四泊五日②規定なし（三万円ていど）③関西、北海道④二十名に一名と管理職。

【宮城県】①五泊六日②五万八千円③規定なし④二十五名まで一名、五十名以内は二名。

【福島県】①四泊五日②五万五千円③関西、道南④学級数に二名を加える。

【栃木県】①四泊五日（百十時間以内）②五万円以内③本州、四国④二十五名につき一名⑤県内の所要時間は含まない。

【茨城県】①三泊四日②五万一千円③関西、四国④三十名につき一名。

【群馬県】①百二十時間。新幹線利用は百十時間②四万八千円③関西（姫路まで）東北（青森まで）④学級数につき一ー二名。

【埼玉県】①四泊五日②五万二千円③本州、四国④二十ー三十名につき一名。責任者は別枠。

【千葉県】①四泊五日②規定なし③規定なし④学級数に一・五をかけ二名加える。

【東京都】①九十六時間②規定なし③規定なし④学級数に一・五をかけ二名加える。

【神奈川県】①四泊五日②負担軽く③規定なし④学級数に一・二をかけ二名加える⑤車船中泊は一泊。北海道は半泊。

【川崎市】①四泊五日②五万六百二十円③関西、山陰④二十名につき一名。

【横浜市】①四泊五日ー七泊八日②五万二千円③北海道、関西、中国、九州④四十名につき四名。

【山梨県】①五泊六日②規定なし③北海道、南九州を除く④三十名に一名⑤車船中泊一回＝つづく

研究発表会ひらく

関修委主催、渋川市で

【関東支局】関東地区公立中学校修学旅行委員会（浅香久会長）の五十四年度修学旅行研究発表会は群馬県中学校長会（柴崎初太会長）財団法人・全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）の後援で二月二十七日（水）午前十時から正午まで渋川市の市民会館小ホールで開催する。

浅香関修委会長の挨拶、渋川市教育長、群馬県中学校長会長の祝辞につづき、同県利根郡利根村立多那中学校教諭生方実太郎氏の、「集合教育をとり入れた修学旅行」同新治村立新治中学校教諭の「新幹線における車窓学習」の研究発表が行われる。

なお関修委の運営委員会も引き続いて開催する。

移転　財団法人・福島県退職教職員互助会は福島市上町一番一三号学生協会館四階に移転。電話は従来通り〇二四五ー二二ー三五三六。

風紋

最近とみに新聞紙上を賑わしている少年少女の自殺記事をみて驚き入っている次第だ。成績が悪くて親に叱られたとか、上級学校の受験に耐えられないとか、学友にいじめられたとか、濡れ衣を着せられたとか極端な場合、欲しいものが買ってもらえないとかなどで自殺している例があまりにも多い▼戦前にも若者の自殺はあった。藤村操が人生とは何ぞやと叫び華厳の滝からの投身自殺、三原山での心中の流行など青春の象徴のように言われた。だが、少年少女の自殺などほとんどその例を聞かない。自己流に考えるに、戦前はおとな中心の社会であり、子を叱る教育は当然のことである。子どもも早くおとなになりたいと願望していた。私なども四代目のぼろぼろの英語辞書を使った覚えがあり、そんなものと諦めていた▼交通機関も今日のように発達せず、風雨にかかわらず毎日三㌔、五㌔の道を歩いて通学した。肉体の苦痛を通して精神が鍛えられていった。物質的な貧しさがかえって心を豊かにし、強靭にもした▼それと比較して今日はどうだろうか。子ども中心の時代とはいいながら、家の権威はとかく失墜し、過保護傾向に走り子どもの欲望の満たし過ぎとなる。己の欲望が満たされないとフラストレーションを起こし、自己抑制が効かず自暴自棄となる。苦痛を通り越さない精神の虚弱さがそこにある▼驕りながらも豊かな物質文明の中で、豊かさと強靭さの精神を取り戻すのは今後の大きな課題であろう。幼児期から社会の中の人間生活の基本となる躾、知らないことは教えられない親の教育、教師となる資格の基礎訓練子ども遊びの中の人間成長の学習、そして作業、学習、さらに集団の中での愛と規律の陶冶が必要なのではなかろうか。目標をめざし、出口なしにせず、苦痛を耐え忍ぶところにセルフ・コントロールが育つ。そうすれば今日よりも自殺がより少なくなるのではなかろうか。（S）

大和路を語る会

ことしの「大和路を語る会」は奈良県、奈良市などの主催、全修協、千葉県、同教委、千葉市、同教委などの後援で二月一日午前十時三十分から千葉市中央四ー十三県教育会館で開催、高校や中学校の修学旅行担当教諭が出席した。

学ぶ、残す、自己を見い出す修学旅行にしたい。ツーリストがお世話します。

ツーリストは学校の主体性を尊重し、その特性に沿った個性ゆたかな旅づくりと積極的に取組んでいます。地元警察や病院などとの協力体制を密にし、万が一の事故にも万全の構え。また、事前指導用の修学旅行映画を制作し、指導の推進をバックアップ。多彩なご要望に綿密なプランですばやくお応えしています。

近畿日本ツーリスト
運輸大臣登録一般旅行業第20号

KANSAI KISEN

思い出の修学旅行
印象的な、
瀬戸内海の船旅

●貸切専用船「こはく丸」もご利用下さい
●阪神／別府航路（毎日3便）
●阪神／小豆島・高松便（毎日1便）
●東神戸／日向(宮崎)フェリー（隔日1便）

お問合せは＝大阪市北区梅田1-1 ☎06－344－7031
東京都中央区八重洲1-4-14 ☎03-274-4273
ほか、各地支店駐在員・旅行代理店へ

関西汽船

講演、見学指導に感銘

研修旅行のアンケートから

全修協主催による研修旅行の特色は研修行事の豊富さにあり、教職員にとって有意義だと、各コースとも好評をうけている。目的地ごとの講演や見学指導、しかも肩のこらないこれらの諸行事の成果は、参加者のアンケートによっても証明されている。また、最近では実施担当会社の添乗員に対する讃辞が多く、奉仕精神によるすぐれた接客態度が旅の楽しさを倍加させているのも特徴のひとつといえよう。以下、昨夏のアンケートの中からひろってみると—。（文中の敬称は略）

吉野・十津川

★研修行事は参考になることが多く、すばらしい旅行だった。添乗員は万事に行き届き、気持ちのよいかたで好感がもてた。（青森・伊藤七良）

★こころいくまで研修ができたことを感謝している。なかでも一乗院のユーモラスな説明が印象的だった。（岩手・菅原竹美）

★道成寺、高野山などでは説明が非常にすばらしかった。添乗員の細かい配慮、ありがとう。（広島・島川佐和子）

★人ではなかなか行かれぬ十津川なので感銘が深かった。高野山は説明、食事ともに最高。できればもう少し見学時間がほしかった。（福島・大堀静江）

★高野山での説明が印象的だった。添乗員はとても親切で、感謝している。（長崎・中嶋スエ子）

★地理的に無理なところにも拘わらず、ゆっくりできたのがよかった。（大分・田中利子）

★新宮は時間が短く、むしろ瀞八丁を入れたほうがよかった。コース全般に時間の取りかたに考慮されたい。（北海道・米谷秀文）

★高野山では見識の高い講演、楽しく勉強できた。宿へ着いてから夕食までの時間が不足。せめて一時間半ぐらいはほしい。（東京・田口寿一）

東北一周

★毛越寺では雨中にもかかわらず住職さんが熱心にお話をされ、たいへん勉強になりました。期待していた東北の旅、団長さんや添乗員さんをはじめ団員みなさまのあたたかい友情で長い旅を楽しくすごさせていただきました。また次の機会を待っています。（長崎・北沢アサノ）

★すばらしい旅行計画で楽しい旅ができました。旅なれぬ私にとって、ほんとうにうれしい限りでした。また、来年も行きたいと思っています。（香川・大丸マサエ）

★瑞巌寺での説明はユーモアがありよかった。きりたんぽ料理はおいしかった。（熊本・入家君子）

★みんな元気で旅行ができ、なによりでした。前半は雨にたたられましたが、天候はどうにもなりません。避暑にきたと思って楽しみました。ただし後半は上天気で、気持ちよい旅でした。（長崎・嶺石久子）

★添乗員は若いのによくがんばってお世話してくれました。これからのご健闘を祈ります。（山口・原田富美恵）

★毛越寺では境内の散歩時間がほしかった。また、弘前城の見学計画を入れてもらいたかった。（愛知・林昭子）

奥東北

★二か所で講師の説明があったがすばらしかった。欲をいえばもう一泊ふやして、ゆとりのある旅にして欲しかった。バスの乗務員はもちろん車両もきれいで感心した。添乗員も親切で要領よく誘導してくれた。（三重・新良弘）

★恐山と角館伝承館での説明はすばらしかった。若い添乗員さんご苦労さまでした。（静岡・中川君代）

★頼んだことを誠心誠意で果たしてくれた添乗員さんに感謝しています。（岐阜・関谷広之）

★角館伝承館長の話がよかった。できれば簡単な印刷でもあったほうがよい。恐山での話も興味深く、もっと時間がほしかった。（茨城・塙茂樹）

★下車見学地は適当だったと思うが、弘前では時間があり、五重塔か城内を見せてほしかった。添乗員二人は協力してみんなのために骨折ってくれました。（東京・宮城恒子）

★バスの運転士さんは親切で慎重、ガイドさんもよかった。恐山と角館伝承館の説明、楽しくきくことができた。（新潟・小杉誠治）

★研修行事はたいへん有益で参考になった。研修旅行に幾回も参加しているので行くコースがなくなった。ぜひ新しいコースを作って下さい。（愛知・小瀬治子）

西欧の人と自然

<2>

歴史を物語る灰の町

清水　巌

清水　巌氏

■ナボナ広場

西欧には、広場と名のつく公共の自由な場所が、いたる所にある。特定の目的をもって訪ねる人びとには、余り必要のない場所かもしれないが、語学力のない私にとっては黙っては座り、そのふん囲気や触れあいを求めるには、格好の場所であった。

ここ、ナボナ広場は、多くのことを教えてくれた。陽気で楽天的なイタリア人、バカンスを楽しむ人やジプシーが集まってくる大衆広場である。そしてあたかも古代戦士が、皇帝・貴族の居並ぶバルコニーの前に勢ぞろいし、多くの民衆がかたずをのんで見守る中を戦車に乗り、馬を疾駆させた競技場を思わせ、華やかなファンファーレの響きが、今にも聞えてきそうである。

そして今、昼はベルニーニの噴水に涼を求め、その彫刻の偉大さに歴史の重みを感じた。この広場も夜ともなれば、数多くの露店、付近のBAR（バール＝女っ気のない酒場、軽食喫茶店）が歩道いっぱいに席を連ね、大勢の人々の憩いの場所となる。

広場—皇居前広場は暗い事件を思い出し、富山県庁前広場も、夜の九時とともに噴水の明かりも消えてしまう。生活・習慣の違いはあるだろうが、広場に憩い、広場に楽しむ人々の姿は、余りにも日本的ではない異国情緒たっぷりの姿だった。

■ポンペイ

一昨年の夏、北海道の有珠山が爆発し、大量の火山灰を降らせ、一時死の町、恐怖の町と化したことがあった。もしあの時、瞬時の休む間もなく山は噴火し、火山灰を降らせたら…時代の相違はあっても、このポンペイのように今までの生活そのままに、火山灰の下に埋もれてしまったことだろう。

「ポンペイは、ここで下車して見学します」と言われた時、いったいどこにあの広大な遺跡があるのだろうと、思わずまわりをキョロキョロした。そこには、ブドウだなの下の売店や数多くの物売り、レストランがあるのみで、さっぱりわからない。やがてわれわれは近くの丘へ案内された。

その丘の入り口＝海岸の門＝本当にこれがポンペイの入り口であった。石だたみ、廃墟と化した町。名も知らぬ夏草におおわれた静寂な町。今は静かなベスビオス火山を背景に、二千年前の息吹を語りかけてくる。それはまた石だたみの車道、横断歩道、区画された巨大な現代都市に劣らぬ街であった。運命のベスビオス火山の爆発は西暦七九年であったが、その以前、六二年にこの不幸を予言するかのような地震があり、その復興の完成せぬ前に、この世から姿を消してしまった町である。先の被害を示す壁画や浮彫りが、鮮やかに描かれた直後、家もろとも火山灰の下になろうとはだれが予測し得ただろう。

地中から表れた古代人の遺体に刻まれた苦悩の表情。苦しかったのか、生への執着を断ちきれなかったのか、にぎり拳（こぶし）をみたとき、地震国日本へ思いをはせた。この苦悩、この表情から私自身何を学びとろうとしているのかと。

■フィレンツェ

旅の行程表に〃花の都フィレンツェ〃とある。花の都とは何を指すのだろう。華の都パリーと言うが〃花の都〃とは。

フィレンツェを英語読みにすればフローレンスであり〃花の都〃の意味となる。そして〃花の聖母寺〃となると、いよいよこんがらがってしまう。

そんなことを考えているうちにバスは石畳の坂をのぼり、ミケランジェロの丘に着く。ここからはアルノ山をはさんで、色違いの大理石の模様で建築されたバロック式の〃花のサンタ・マリア寺〃やバラッツオ・ベキオの塔、ベキオ橋が一望できる。この町は、歩いて見学できるくらいの小さな町だが、ルネサンスの都と言われるほどあって町中の教会や宮殿はそのまま美術館と言っても過言でないくらいの壁画や名画・彫像がある。

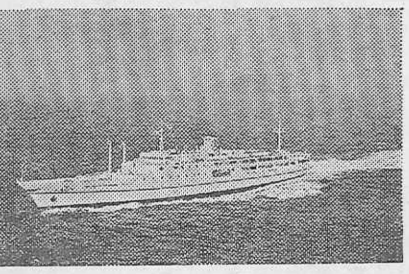
夜のイタリア・フィレンツェは昼の観光客と入れかわって、町角のバールは地元の人で超満員だ。有名なベキオ橋のにぎわいは夜のふけるまで続き、夜空に浮きだされた花の聖母寺のドームは、平和そのものである。

私の期待をふくらませ、目をみはらせたこの町は、今次大戦の洗礼をうけ、アルノ川の橋はベキオ橋を残してすべて焼け落ちたと言うが、その傷跡も今はなく、赤レンガ色の屋根の美しい町だった。

（つづく）財団法人・富山県教職員厚生会業務課長（写真も）

現代都市そのままのポンペイの遺跡

若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船
さくら（13,000トン）
ひかり（4,000トン）

- スケジュール・コースはご自由に
- 旅客定員 1,800名
- サロン・休憩室・医務室完備
- 船内でのグループ活動・学習に最適
- 全室エアコン完備
- 一般客との混乗なし

Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11
浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

首都圏で唯一の本格サファリ。
動物とのふれあい。
フレッシュな体験。
ご要望により、獣医・飼育係による動物教室を開講いたします。
●大食堂800名収容・駐車場2,500台
●全周映画（ディズニーランドと当園にしかありません）
●大遊園地
●修学旅行料金・高校生￥1,000・中学生￥600・小学生￥500
◎野生の王国◎
群馬サファリ・ワールド
群馬県富岡市岡本1　☎02746(4)2111
東京営業所　☎03（836）4588

東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

東京　コマ旅行会館

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき—。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460－4－8595(代表)